



例会日 毎週金曜日 時 間 12:30~13:30
例会場・事務局 上尾市中妻 3-11-2(3F)
TEL 048-771-7888 FAX 048-771-9589

国際ロータリー第 2770 地区

上尾北ロータリークラブ会報

会長 金子禎伴 副会長 新井金作 幹事 杉中尚平 公共イメージ・会報 榎本学

よいことの
ために
手を取りあおう

よいことのために手を取りあおう

No.1359 (7月号)

ガバナー公式訪問

熊木雄太郎ガバナー



松本安永ガバナー補佐



新入会員入会式



スマイル賞の
皆さん

会長挨拶 7/11

改めまして皆様こんにちは。今年度2回目の例会が始まりました。本日はガバナー公式訪問であります。

本日は大変ご多用の中、国際ロータリー第2770地区ガバナー熊木雄太郎様、地区幹事岡部成一様、ようこそ上尾北ロータリークラブにお越しくださいました。ご指導の程、宜しくお願い致します。そして先週に引き続き、第5グループガバナー補佐松本安永様、補佐幹事本多邦光様、本日もご指導の程、宜しくお願い致します。

ロータリークラブの大きな行事であります、ガバナー公式訪問がこのように年度初めに行われる事で、かなり慌ただしくしておりました。年度計画書も本来であれば7月7日までに届けるところ8日になってしまいご迷惑をおかけし申し訳ありませんでした。公式訪問が終われば、後が楽になるような気がします。右肩の荷がおりれば、悩みのシャンクも出なくなれば良いんですけど。今期の方針は「ターゲット30」「居心地のよい空間整備」です。計画及び実施方法ですが、方針とは全くリンクしていません。

「今日は何をやるか」を無くす。

「月の目標に合う外部卓話を行なう」です。

ターゲット30は会員数を30人まで増やす事です。会員皆さんが1人が1人、お付き合いのある経営者の方々に声を掛けてもらい会員増強に取り組んで行きましょう。例会日には必ず年度計画書を見て頂き、表紙に書いてある会員増強を見て「そうだ今年は会員増強なんだ」と強く思って頂き行動していきましょう。目標は30ですが30を超えて行きましょう、上尾で1番になれるよう協力してください、宜しくお願い致します。

それから2つめ、居心地の良い空間整備ですが、先週もお話しましたが空調は効かない、トイレも使えない、物が多いなど、例会場の整備は必要不可欠だと考えます。お陰様で昨日トイレは使えるようになりました。なんとかガバナー公式訪問に間に合いました。空調はもう少し時間がかかりそうです。整理整頓はこれからも続けていきます、協力してください。

会長挨拶はロータリーの事を盛り込むように言われています。先週お話をした、2人の名前を覚えて下さいと言いました。どうですか皆さん？海外拡大に情熱的に取り組んだ初代事務総長チェリス・ペリーと創立の準備に奔走した米山梅吉と福島喜三郎の2人です。この日本人2人はわすれてはいけない、と言われています。覚えて

おいてください。

「ロータリーの3大義務」これも覚えて下さい。例会の出席、会費の納入、ロータリー雑誌の購読です。例会の出席ですが、他のクラブへの出席もOKでそれを「メイクアップ」と言います。他のクラブに所属されているご友人などお知り合いのクラブの例会に参加されるのも良いことだと思います。是非機会がありましたら行ってみてください。簡単ですが開会に当たっての会長挨拶と致します。

会長挨拶 7/4

改めまして皆さんこんにちは。2025～2026年度、2回目の会長を務めます金子禎伴です。本日は大変ご多用の中、松本がバナー補佐、本多ガバナー補佐幹事にお越しを頂きました。誠にありがとうございます御座います。ご指導の程、宜しくお願い致します。ガバナー補佐の表敬訪問が今期第一回目の例会になった理由は、来週ガバナー公式訪問があるからです。今期は開始早々あわただしくなりますが、その反面、公式訪問が早く終わってしまえば、後がすごく楽になるようにも思え今期のスケジュールはスムーズにいけるような気がします。会長エレクトラニングセミナーが4月の開催、地区クラブリーダーシップラーニングセミナーが5月の開催となり、例年より1ヶ月遅れになり年度計画書の作成も慌ただしく、

それに付け加え2025～2026年度RI会長エレクトの辞任と年度計画書作成にあたり壁ばかりが立ちました。新入会員のシャロームさんの協力もあり、かなりのスピード感をもって作成し、年度計画書が間に合いほっとしております。その年度計画書ですが表紙に会員増強と目立つように書きました。そして会長方針を「ターゲット30」「居心地のよい空間整備」であります。計画及び実施方法ですが全く会長方針にリンクしていません。

「今日は何をやるか」を無くす。

「毎月の目標に合う外部卓話を月1回行う」です。また毎月1回、夕方例会を開催します、理由は第一戦で働いている若き経営者の方々が例会に出やすい時間帯で例会を行い出席率を上げることにあります。何回も申し上げますが今期の目標は「ターゲット30」会員を30人まで増やす事です。会員皆さんが1人が1人お付き合いのある経営

者の方々に声をかけてもらい会員増強に取り組んでいきましょう。会長挨拶はロータリーの事を話さない、とご指導がありましたのでロータリーの事にふれていきます。20世紀初頭のシカゴの街は、著しい社会経済の発展の陰で、商業道德の欠如が目につくようになっていたそうです。ちょうどそのころ、シカゴに事務所を構えていた青年弁護士ポール・ハリスはこの風潮に堪えかね、友人3人と語らって、お互いに信頼のできる公正な取引をし、仕事上の付き合いがそのまま親友関係にまで発展するような仲間を増やしたい、という趣旨でロータリークラブという会合を考えたそうです。ロータリーとは集会を各自の事務所持ち回りで順番に開くことから名付けられたそうです。こうして1905年2月23日にシカゴロータリークラブが誕生したそうです。それからは、志を同じくするロータリークラブが、次々各地に生まれて、国境を越え、今では200以上の国と地域に広がり、クラブ数36,568、総会員数1,167,285人(2025年4月15日国際ロータリー公式発表)に達しております。このように歴史的に見ても、ロータリーとは職業倫理を重んずる実業人、専門職業人の集まりなのです。その組織が地球の隅々まで拡大するにつれて、ロータリーは世界に目を開いて、幅広い奉仕活動を求められるようになり、現在は多方面にわたって多大な貢献をしております。なお、世界中のロータリークラブとロータリーアクトクラブの連合体を国際ロータリーと称します。

日本のロータリーはどうか、1920年(大正9年)10月20日に創立された東京ロータリークラブ、翌1921年4月1日に世界で855番目のクラブとして、国際ロータリーに加盟が承認されたそうです。日本のロータリークラブ設立については、ポールハリスの片腕としてロータリーの組織をつくり、海外拡大に情熱的に取り組んだ初代事務総長チェリス・ペリーと創立の準備の奔走した米山梅吉、福島喜三郎などの先達の功をわすれることはできません。会員の皆さん米山梅吉と福島喜三郎わすれてはいけませんので、覚えておいてください、念押しをさせていただきます。

前年2024~2025年度の締めくくりに、私のわがままを聞いて頂き皆さんに協力をして頂き例会場の整理整頓、配置換えを行いました。雰囲気が変わると気持ちも変わります。何となく新鮮な感じで例会を楽しめるような気がします。冷暖房の効かない、トイレもまともに使えない、もう少し時間をください。話が2転3転しておりますが、

涼しい例会場が目前まできています。トイレの話も進んでおります。今しばらくお待ちください。

先に申し上げておきますが、ガバナー公式訪問でも同じような挨拶になるかと思いますが、「また同じ事言ってるよ」で言わないでください。2025~2026年度1年間、どうぞ宜しくお願い致します。簡単ですが開会に当たっての会長挨拶と致します。

松本安永ガバナー補佐



本多邦光ガバナー補佐幹事



新入会員の皆さん



7月出席率・91.67%

8月フェローシップ

藤波貢会員 金子一夫会員